



畜産における暑熱対策について

近年、地球温暖化の影響もあり、特に夏季の暑さは年々深刻さを増しています。今夏も全国的に気温が高くなると予想されています。

私たち人間にとっても辛い夏の暑さですが、家畜にもこの暑熱ストレスは様々な影響を及ぼします。

暑熱対策は、生産性が低下してからはなく、早めに行うことが重要です。家畜の様子をこまめに観察し、暑熱によるストレスの軽減に努めましょう。

畜舎環境面からの対策

- 畜舎外から畜舎温度を下げる
 - 樹木や遮光ネット等の設置（ネットにアサガオやアカザなどの植物を這わせる）
 - 屋根への断熱材の設置、石灰乳の塗布
- 畜舎内から畜舎温度を下げる
 - 換気扇や扇風機での送風
 - 家畜への直接送風、散水

飼養管理面からの対策

- 密飼いを避けて体感温度とイライラを軽減

- 毛刈りの実施（牛）
- 飼料給与等の工夫

- 冷たい水が十分に飲めるようにする（給水管の掃除、給水管を太くするなど）
- 涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- 良質で消化率の高い飼料を与える
- 必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う

作業者の方も御注意ください

家畜だけでなく、作業者の方も熱中症にならないように、無理をせずにこまめな休憩、水分・塩分補給を心掛けてください。

もし少しでも「おかしい」と感じたら、涼しい場所に避難し、医療機関に相談しましょう。



植物利用した遮光ネット（兵庫県）
（農水省作成パンフレットより）